



平成 18 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク リ ー ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宗 吉 敏 彦
(コ ー ド 番 号 : 8 8 8 8 東 証 一 部)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 経 理 部 長 菅 原 猛
(T E L 0 3 - 3 5 0 0 - 3 3 0 0)

新規旗艦ファンド「クリード・リアル・エステート・パートナーズ」について

当社グループは、欧州・中東・アジアの大手年金基金・政府系投資機関・金融機関等を出資者とする新規旗艦ファンド「クリード・リアル・エステート・パートナーズ」の組成を進めてまいりましたが、この度出資募集が終了し、物件の取得・運用を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 総資産額 : 約 2,300 億円
2. 出資総額 : 約 565 億円 (うち、当社グループの出資比率は約 5%)
3. 出資方法 : 出資確約方式
4. 物件の取得・運用期間 : 2006 年 11 月より 7 年間 (但し、1 年間延長することがある)
5. 運用スタイル : バリュアード型
6. 運用戦略 : 十分な運営管理がなされていない国内中小型不動産に対して、プロフェッショナルなアセット・マネジメントを遂行し、安定投資用物件へと価値を高めた上で売却することを目指す
7. 投資家 : 欧州・中東・アジアの大手年金基金・政府系投資機関・金融機関等計 9 社 (当社グループを除く)
8. 投資対象物件 : 国内中小型不動産 (主に数億円から数十億円の現物不動産又は信託受益権)
9. 投資方針 : 物件取得終了時、ポートフォリオ全体におけるオフィスとレジデンスを合計した割合が取得額ベースで 70%以上となること、また、東京・大阪・名古屋を中心とする三大都市圏での投資割合が取得額ベースで 70%程度となることを目標とする
10. 物件の取得状況 : 約 550 億円相当の物件を本ファンドのシードアセットとして取得済み

本ファンドの運用に伴う当社グループの業績への収益貢献要素といたしましては、物件の取得に対するフィー、運用期間中の物件のマネジメント及び物件への投資額のマネジメントに対するフィーのほか、運用成績に基づくインセンティブフィー等がございます。なお、本ファンドの組成・運用に伴う業績への影響については、すでに公表済みの第 11 期業績予想に織り込まれております。

※注：当該プレスリリースは投資勧誘を目的としたものではありません。また、ここに掲載されている情報は発表日現在のものです。

以上